

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	02 生涯学習の充実								
基本事業	02 生涯学習支援体制の推進								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
児童生徒を含む社会教育関係事業を行う団体	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会教育関係団体が自主的に企画・運営する社会教育、音楽文化事業に対し、事業費の一部を支援する。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」及び「江別市地域交流活動促進事業補助金交付要綱」に基づき、社会教育の振興・発展を目的とする市内の団体及びこれらの団体で組織する実行委員会に対し、補助対象経費の2分の1以内で補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
地域や社会教育関係団体が自主的に企画・運営する事業を支援することにより、地域活動の活性化と地域教育力の向上を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	青少年ふれあい交流事業実践団体数	団体	9	4	7	8
対象指標2	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,441	—
活動指標1	補助金額	千円	200	180	200	200
活動指標2						
成果指標1	事業数	事業	9	4	7	—
成果指標2	事業参加者数	人	2,031	656	2,283	2,000
事業費(A)		千円	200	180	200	200
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	601	581	591	591

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の振興・発展を目的とする市内の団体及びこれらの団体で組織する実行委員会が学校と連携して自主的に企画・運営する社会教育事業や音楽文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」及び「江別市地域交流活動促進事業補助金交付要綱」に基づき事業費の一部を支援する。 	青少年ふれあい交流事業実践団体への補助金 200千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を取り巻く地域社会の変化は著しく、地域ぐるみで青少年を守り、育んでいく取組が益々必要となっている。 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく住み良い地域を再生する方策の1つとして、家庭や地域が連携して子どもを育む取組を支援することは、相互に学び合う生涯学習の環境づくりに有効である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が主体的に取組む社会教育活動や文化振興活動が促進されるとともに、生涯学習に対する意識の高揚を図ることができる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・制度が定着したことから、複数の団体から申請があり、家庭・地域・学校の連携した活動が図られ、地域コミュニティの醸成に繋がっている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・制度自体定着していることから、これ以上の急激な変化は望めない。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
	<ul style="list-style-type: none"> ・1件あたりの補助額が極めて小額であり、コストを削減した場合、事業活動の停滞や消滅が予想される。